



2021年7月1日～2022年6月30日

2021年10月発行 第30巻第4号 (通算345号)

クラブ会長(CP) **野田 将弘** 主題 **まずはクラブ内で「お悩み解決」します**
 ～「羨ましいクラブ」への第一歩は「メンバーでよかった」から～

主 題	国 際 会 長 IP	Kim Sanche (韓国)	“Y's Men with the World”「世界と共にワイズメン」 スローガン “Heal the World with Love % Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」	クラブ役員 会 長 野田 将弘 副 会 長 塚 理 書 記 蒲田 泰宏 会 計 川端 康彦 会計監査 粕谷 和彦 直前会長 蒲田 泰宏 担当主事 浜野 昌保
	アジア太平洋地域会長 AP	大野 勉 (神戸ポート)	“Make a difference beyond the 100th” 「100年を超えて変革しよう」 スローガン” Be healthy”「健康第一！」	
	西日本区理事 RD	新山 兼司 (京都トップス)	“Challenges for the future”「未来への挑戦」 副題「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！」	
	中 西 部 部 長 DG	牟 大盛 (大阪)	「隣人愛を実践しよう！Love your neighbor as yourself! 副題「新生活様式時代の自己愛は、まずは隣人愛から！」	

10月の聖句	10月は「BF」の月です
「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のまま である。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」 (ヨハネによる福音書12章24節)	「BF の意味を学び国際奉仕団体の一員であることを 自覚しよう」 深谷 聡 国際・交流事業主任 (名古屋クラブ)

10月例会のご案内

日時：10月12日(火) 19:00～20:45

会場：クリエイトセンター 202号室 (定員14名)

講師：2020年度茨木まちみレポーター 向井 義雄 様

内容：市民レポーター活動から感じた茨木市の魅力

茨木市のまち魅力発信課が運営する2020年度「茨木まちみレポーター」
を務めました。

私を含め16名のレポーターが市民目線で感じる茨木市の魅力あるモノ・
コト・場所・お店などを月に1～2回程度、Facebookのページに記事を投稿しています。
レポーター活動についてや、自分の活動や仲間達の投稿内容を通じて感じた茨木市の魅力
などをお話しさせていただきます。

- ・自己紹介
- ・私がレポーターを務めた理由
- ・投稿事例の紹介
- ・茨木まちみレポーターとは？
- ・取材対象の見つけ方
- ・私が感じる茨木市の魅力



当日は会食を実施します。黙食にご協力お願い申し上げます

《9月末データ》単位：円

9月例会 (単位：名)		ニコニコ	CS	0	BF	YES	0
在籍者(うち広義会員1)	12	メネット	-	RBM	0	切手	0g
出席会員	-	ゲスト・ビジター	-	累計 11,000	Yサ・ユース	0	現金
メーキャップ	-	出席率	-	メネット	0	TOF	0
						累計	0
							東日本大震災
							熊本地震

9 月度 役員会報告

☆日程：2021年9月21日(火) 19:00～20:00

☆場所：クリエイトセンター201号室

☆出席者：山崎、川端、清水、野田

1. 会計報告

例会中止による会場費返金あり

前期会費1名分入金

チャリティーランが延期になったため、支援金贈呈は開催前に行うことに

2. 10月例会について

日時：10月12日(火) 19:00～

会場：クリエイトセンター 202号室

講師：茨木まちなみレポーター 向井義雄 様

担当 司会：粕谷、聖句：浜野、寸評：山崎、

各停：清水

3. 11月例会について

日時：11月9日(火) 19:00～

会場：福祉文化会館 303号室

内容：EMC 例会

講師：社会福祉法人つつみ会 たんぽぽ中条
学園 幼保連携型認定こども園
主幹保育教諭 三角あい 氏

担当 司会：清水、聖句：浜野、寸評：野田、
各停：粕谷

4. 12月例会について

日時：12月14日(火) 19:00～

内容：未定(合同例会は中止)

担当 司会：川端、聖句：浜野、寸評：掛谷、各停：野田

5. 京都トップスクラブ例会参加について

10月13日(水)もしくは11月10日(水)の京都
トップスクラブ例会に参加できないか協議。

結論が出なかったためオンラインで継続協議
が決定。

6. じゃがいもファンドについて

蒲田ワイズによると、現在じゃがいもは品種
に限らず例年の1.5倍ほどの価格の上、今後の
値下がりも見込めないとの事。ただ来月での
開催可否決定でも間に合うとの意見が出たため、
来月役員会で最終決定することに。

8. その他検討事項

イ) 行事日程ほか確認

* なかのしまクラブ例会…10/9(土)

講師として野田が参加

ロ) ブリテン委員会…10月1日(金)19:00

～

場所：かしばら印房

以上

京都トップスクラブ新入会員 メンバービジネスプレゼン大会

野田将弘

9月22日(水)夜20時から、オンライン会議「ZOOM」上にて、京都トップスクラブの新入会員のプレゼンテーションが開催されました。牧野西日本区 EMC アドバイザーからご紹介いただき、清水 EMC 主査と共に参加させていただきました。



プレゼンターはじめ京都トップスクラブのメンバーが多数参加され、ゲストも私たちだけでなく倫理法人会のメンバーなどがおられたようで、ワイズの範疇に留まらないという意味で大きな会だったのではないかと思います。

プレゼンターは

- ・辻村昇平ワイズ(オーダースーツ)
- ・稲田隼也ワイズ(印刷)
- ・内山亜衣ワイズ(美容)
- ・岡田和樹ワイズ(自動車)

の4名でした。

いずれの方々もご自身のお仕事の説明が非常に
上手で、ご自身の会社・店舗の強みや特徴を上手
に説明されておられました。

そしてそれ以上に驚いたのは、話を聞かれていた京都トップスクラブのメンバーです。予算や納期、対象者など実際プレゼンターからお仕事をお

願いするにあたり重要な質問はもちろんされてきました。しかしそれ以上に。「(ブランド名)って最近どうなの？」など、答えをいただくことで「さすがプロ！ お詳しいなあ」と感じるようなご質問を的確にされておられました。発表するクラブメンバーに温かい支援を…という、京都トップスクラブの組織力がとても強いことを感じさせる一幕だったのではないかと思っています。若くて活気ある人が集まることは当然重要ですが、気配りを見せてメンバー一人ひとりの価値を上手に伝える事ができるという事も大事なのか…と感服いたしました。

当クラブや関西ワイズビジネス交流会においても見習うことが多いと感じた1日でした。

今西会長をはじめとする京都トップスクラブの皆様。誠にありがとうございました。

以上



清水 真一

このコロナ禍で、世の中では、人が集まることが大変にはばかれる時代になりました。地域活動は、何より仲間と集まって何かを行うことにあるのに、その最大のものを奪われてしまった感があります。

しかし、それを言っているだけでは何も出来ない、何も生まれない状況になってしまいます。世間では、直接会わずとも活動出来るように Zoom で会議を行うなど、新しい行動様式も生まれています。

この状況下で SNS はかっこのツールかと思えます。クラブのことを「知ってもらって」「興味を持ってもらって」を Facebook や Instagram では可能だと思います。最終最後の「理解してもらって」「入会してもらおう」ことは直接会わないといけません、コロナ後のために今から知ってもらって、興味を持ってもらうことは大切なことだと思います。

訃報

当クラブの広義会員で歴代会長でもあります、吉田清三ワイズが、9月16日永眠いたしました。享年78歳。ご葬儀は9月20日にご親族のみで執り行われました。がんを患い広義会員となられて治療に専念されておりましたが、帰らぬ人となってしまいました。

奥様の吉田洋子様からお話を伺ったところ「8月下旬に1度退院し、9月21日から再入院の予定でしたが、入院直前に容体が急変し、亡くなりました。それまでは比較的元気だったものの、少し前から体調を崩し、『早めに再入院しては』という提案したものの、本人が固辞した」とのことでした。

長身でスタイルが良く、笑顔が素敵な方で、当クラブ歴代会長としてワイズに多大な奉仕をいただいたのはもちろん、高槻 YMCA の運営委員なども全うされ、大阪 YMCA に対しても多大なご貢献をされた方でした。またご趣味のゴルフはシングル(ハンディキャップ一桁)で、中西部牟部長が師と仰ぐ程の腕前をお持ちでした

ここにご報告の上、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



10月例会プログラム

日時：10月12日(火) 19:00~20:45

場所：クリエイトセンター 202号室

司会：粕谷君

- 1、黙祷
 - 2、開会・点鐘・会長挨拶 野田会長
 - 3、ゲスト、ビジター紹介 野田会長
 - 4、聖書朗読 浜野君
 - 5、誕生、結婚祝い 野田会長
 - 6、インフォメーション
 - 7、食前感謝
 - 8、会食
 - 9、プログラム
「市民レポーター活動から感じた茨木市の魅力」
講師：茨木まちなみレポーター 向井義雄 様
 - 10、ニコニコファンド 一同
 - 11、閉会宣言・点鐘 野田会長
- 寸評：山崎君、聖句：浜野君

新型コロナウイルスの状況により予定変更となる可能性がございます。ご了承ください。

※ワイズソング・YMCAの歌は会場との規約と時間の関係で中止いたします。

☆誕生日

掛谷太郎君 30日

☆結婚記念日

蒲田泰宏・育美ご夫妻 8日

浜野昌保・紀揚子ご夫妻 22日

11月例会プログラム予定

日時：11月9日(火) 19時~

会場：福祉文化会館 303号室

内容：EMC例会

講師：社会福祉法人つつみ会 たんぽぽ中条学園
幼保連携型認定こども園
主幹保育教諭 三角あい 氏

担当 司会：清水、聖句：浜野、寸評：野田、
各停：粕谷

新型コロナウイルスの状況により予定変更となる可能性がございます。ご了承ください。

12月例会プログラム予定

日時：12月14日(火) 19時~

会場：未定(合同例会は中止)

講師：未定

担当 司会：川端、聖句：浜野、寸評：掛谷、
各停：野田

☆編集後記

今月は「責任」というものを痛感した1か月でした。7月から新型コロナウイルスの新規感染者数が留まるどころを知らず、9月の例会などイベントが中止になったのは当然ですが、中西部会など10月のイベントも軒並み延期・中止となりました。

他の部会も延期にされるという事で、中西部会の延期については私も賛成しました。しかし、ここ最近新規感染者数が急激に減少しています。当時の急拡大の状況から、延期の判断は間違っていないと自信を持っていますが、「結果論で言うと10月が最もイベント開催がしやすく、その後また感染者数が増えてイベント開催しづらくなるかも…」という不安が頭をよぎっています。今後ワクチン接種者が増えているといっても重症者数の見込みが減るだけであり、感染すべき人が感染しなくなるわけではないので、クラスターのリスクは依然考慮しないといけません。

来年に延期となり、その直前に感染者増大の減少となった場合は、協議・審議の上でどうするか決めるでしょう。その結果に対して批判を受けても「延期に決まったうえでこうなってしまったから仕方ない」ではなく、「部会が開催できれば良かったんですけど、私の判断は誤っていたかもしれません」と頭を下げてお詫びする覚悟が必要だと思います。もちろん私が延期に賛成した、という事もありますが、それ以上に、その時延期と判断したことに批判される方は「あの時開催していればよかったのに」つまり開催を心待ちにしていたという強い思いがあるからこそ、そう言われることに他ならないからだと思います。その思いを受けて、自分の判断に対する批判に答えなければ…と思います。